

ORACLE®

2016年5月期 決算説明会

日本オラクル株式会社
2016年6月28日

以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

本資料に含まれている業績予想等、歴史的事実以外の事象については、本資料の発表日において入手可能な情報から判断された一定の前提に基づき日本オラクル株式会社が策定したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があることをご承知おきください。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Program Agenda

- 1 2016年5月期 業績概要
- 2 2017年5月期 業績予想

2016年5月期 業績概要

2016年5月期実績

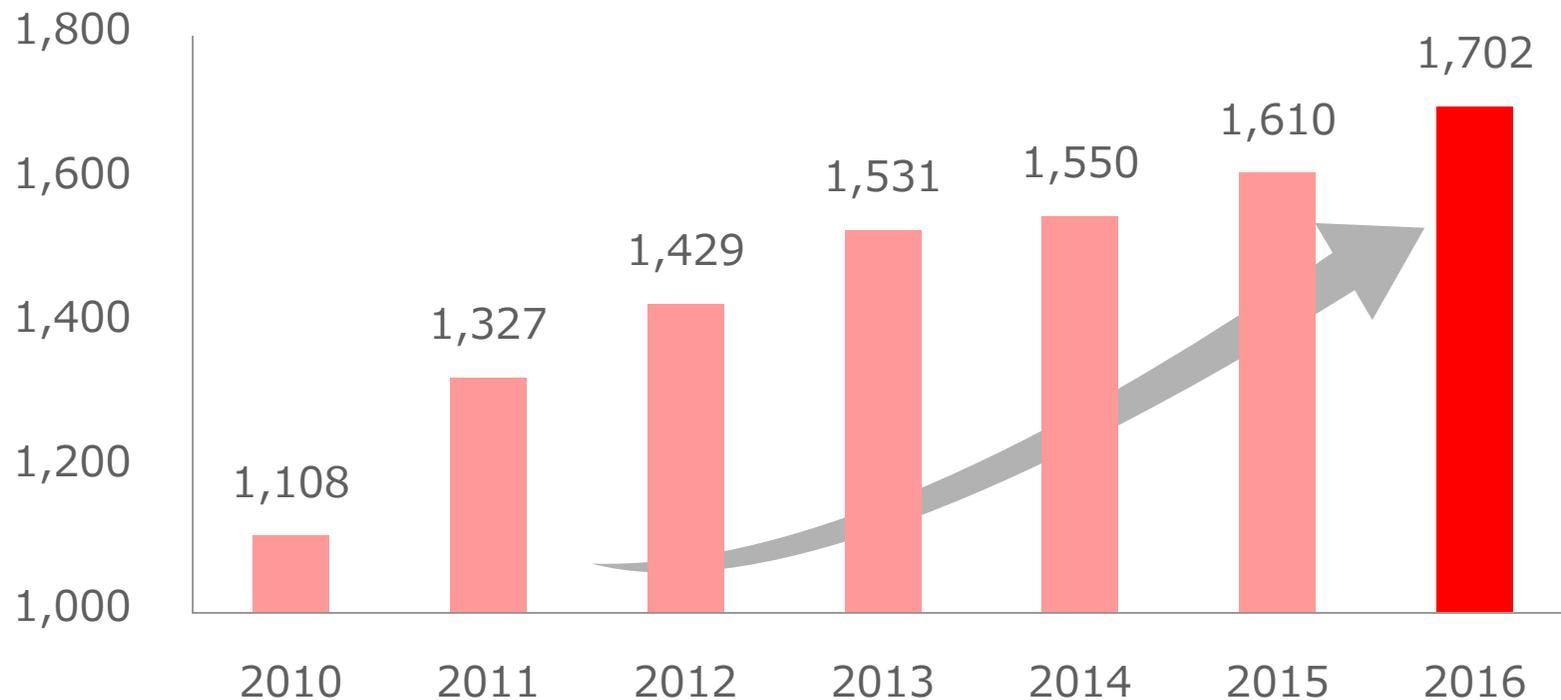
単位：百万円

	2016年5月期 実績	前年比増減 (%)	2015年5月期 実績
売上高	170,203	5.7	161,051
ソフトウェアおよびクラウド	130,099	6.4	122,244
ハードウェア・システムズ	22,247	2.1	21,790
サービス	17,856	4.9	17,016
営業利益	50,225	6.7	47,085
経常利益	50,273	6.3	47,286
当期純利益	33,568	11.0	30,246
1株当たり当期純利益	¥ 263.64	+ ¥25.86	¥ 237.78

売上高

- 6期連続増収
- 過去最高の売上高

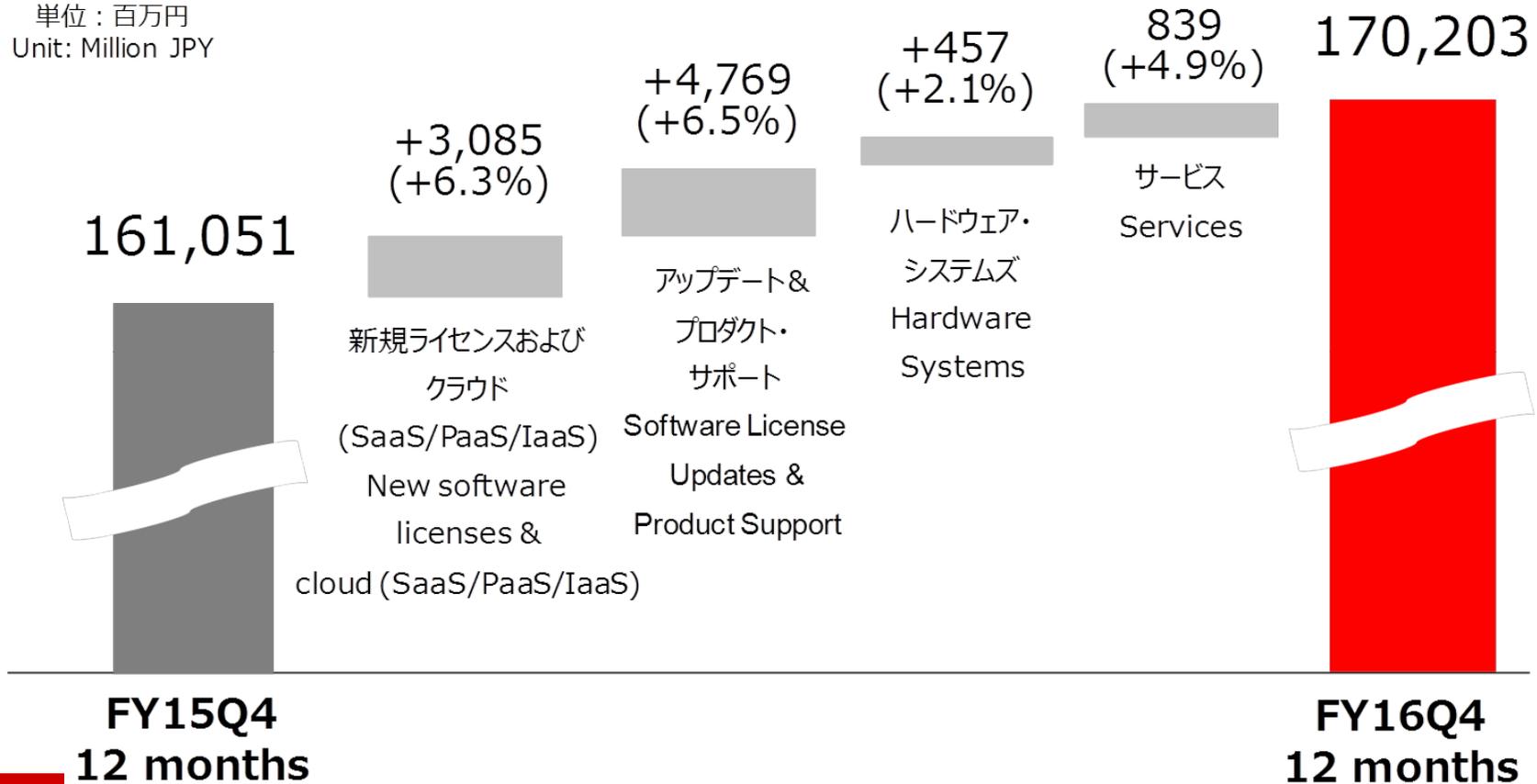
(億円)



売上高対前年同期比

売上高 / Revenue +9,151 (+5.7%)

単位：百万円
Unit: Million JPY



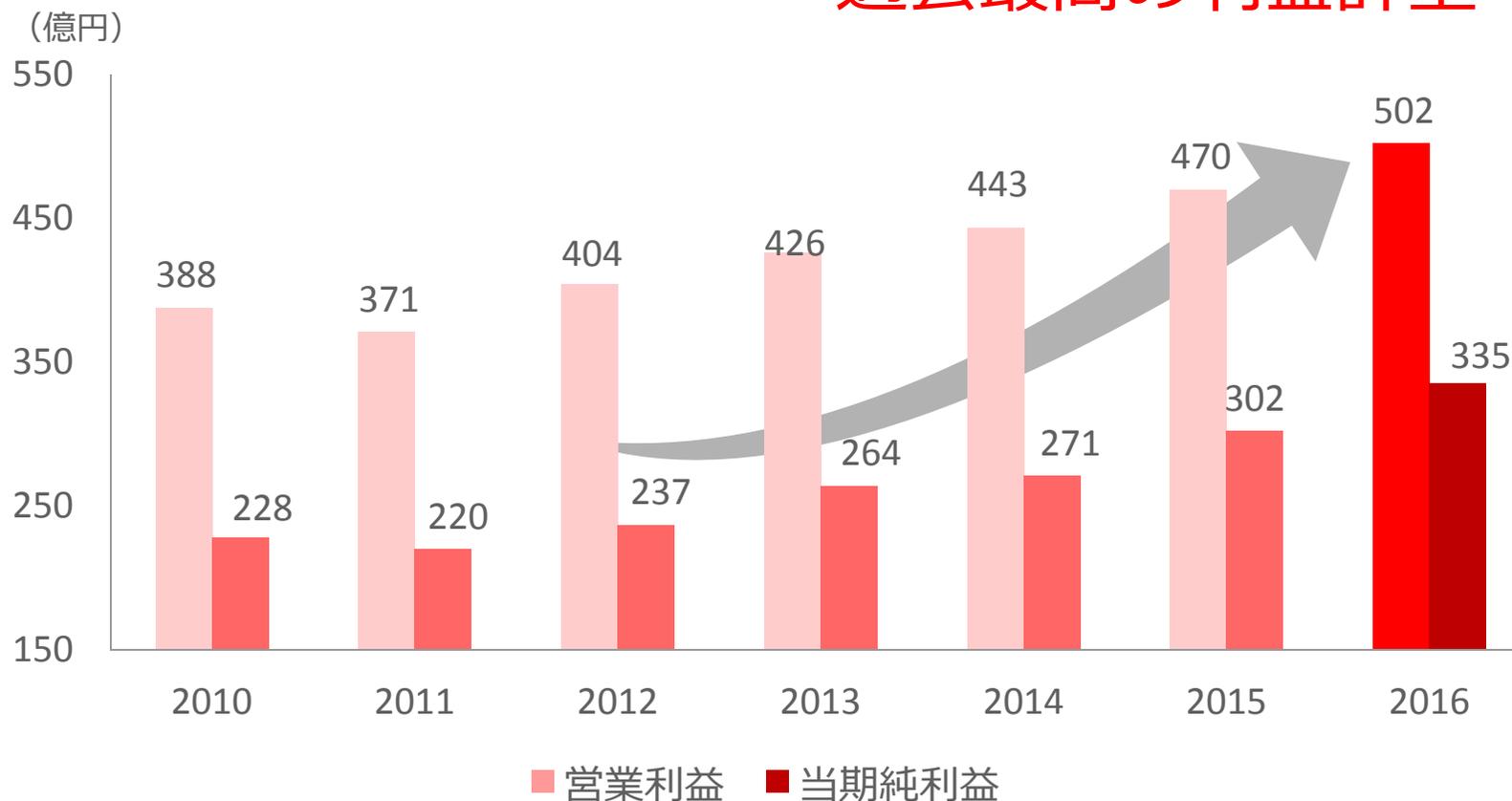
部門別売上高

単位：百万円

	2016年5月期実績	前年比増減(%)	2015年5月期実績
新規ライセンス	47,334	+3.9	45,544
クラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	4,594	+39.3	3,298
新規ライセンスおよびクラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	51,929	+6.3	48,843
アップデート&プロダクト・サポート	78,170	+6.5	73,401
ソフトウェア関連 小計	130,099	+6.4	122,244
ハードウェア・システムズ・プロダクト	11,930	+3.1	11,570
ハードウェア・システムズ・サポート	10,317	+1.0	10,219
ハードウェア・システムズ 小計	22,247	+2.1	21,790
サービス 小計	17,856	+4.9	17,016
合計	170,203	5.7	161,051

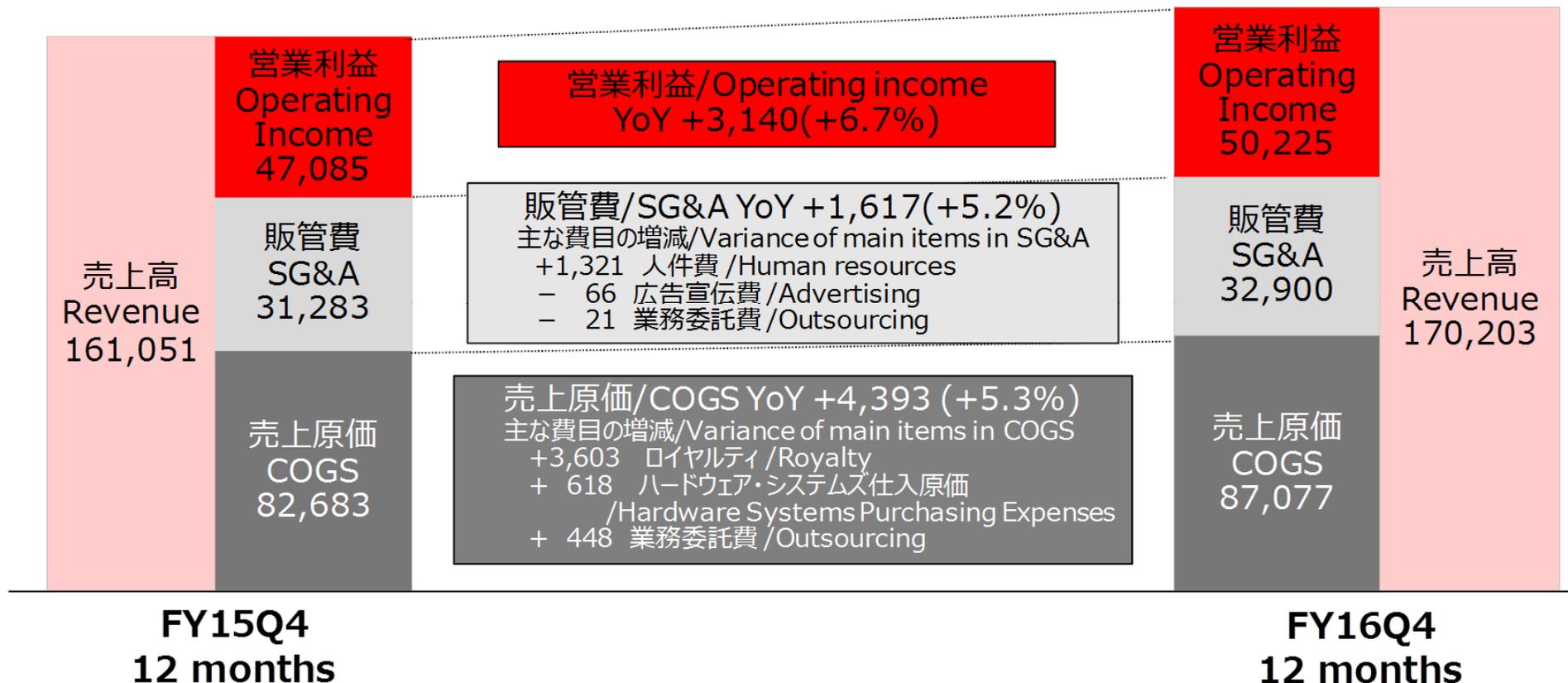
営業利益/当期純利益

- 5期連続増益
- 過去最高の利益計上



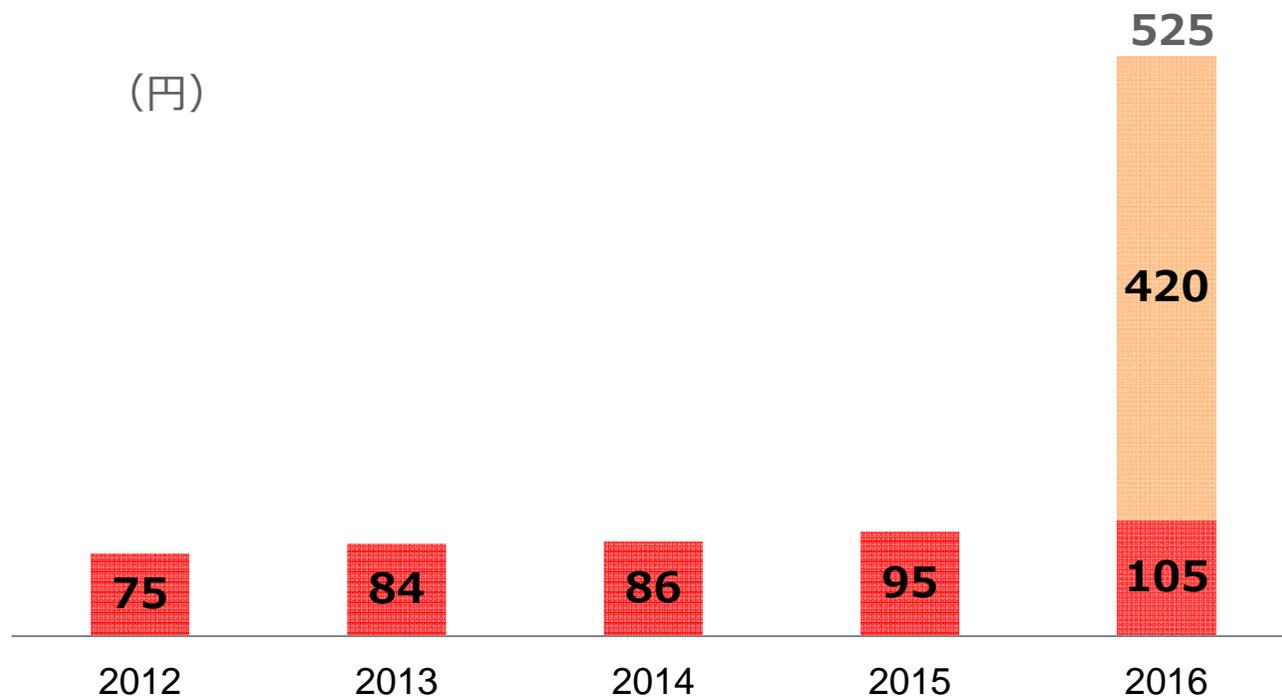
営業利益対前年同期比

単位：百万円
Unit: Million JPY



配当金

(円)



- 1株当たり期末配当金：
525円

普通配当105円

特別配当420円

- 1株当たり当期純利益：
263.64円

- 配当金支払開始日
2016年8月8日

2017年5月期 業績予想

業績予想

	High (%)	Low (%)
売上高	4%	1%
クラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	112%	93%
ソフトウェアおよびクラウド	5%	2%
1株当たり当期純利益	¥ 284	¥ 274

(注1) 予想実効税率 = 31.1%

配当予想

- 2017年5月期 1株当たり期末配当金は未定です。
- 参考：当社の配当方針
 - 当社の事業計画に必要な資金需要、業績、キャッシュ・フローのバランスを総合的に勘案
 - 経営の自由度を確保

2017年度 日本オラクル事業戦略

Digital AID by POCO

(クラウドのちから : The Power Of Cloud by Oracle)



2016年6月28日

日本オラクル株式会社
取締役 代表執行役社長 兼 CEO
杉原 博茂

SAFE HARBOR STATEMENT

以下の事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。以下の事項は、マテリアルやコード、機能を提供することをコミットメント（確約）するものではないため、購買決定を行う際の判断材料になさらないで下さい。

オラクル製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Oracle Japan VISION 2020

FY2017: 3rd Year

Oracle Japan will be...

Make History

(社会に貢献するクラウドカンパニーへ)

No. 1 in Cloud & the Most

Admired Company in the Industry

By leading the industry and creating a new definition of next-generation Cloud with the Oracle Cloud Technology Stack

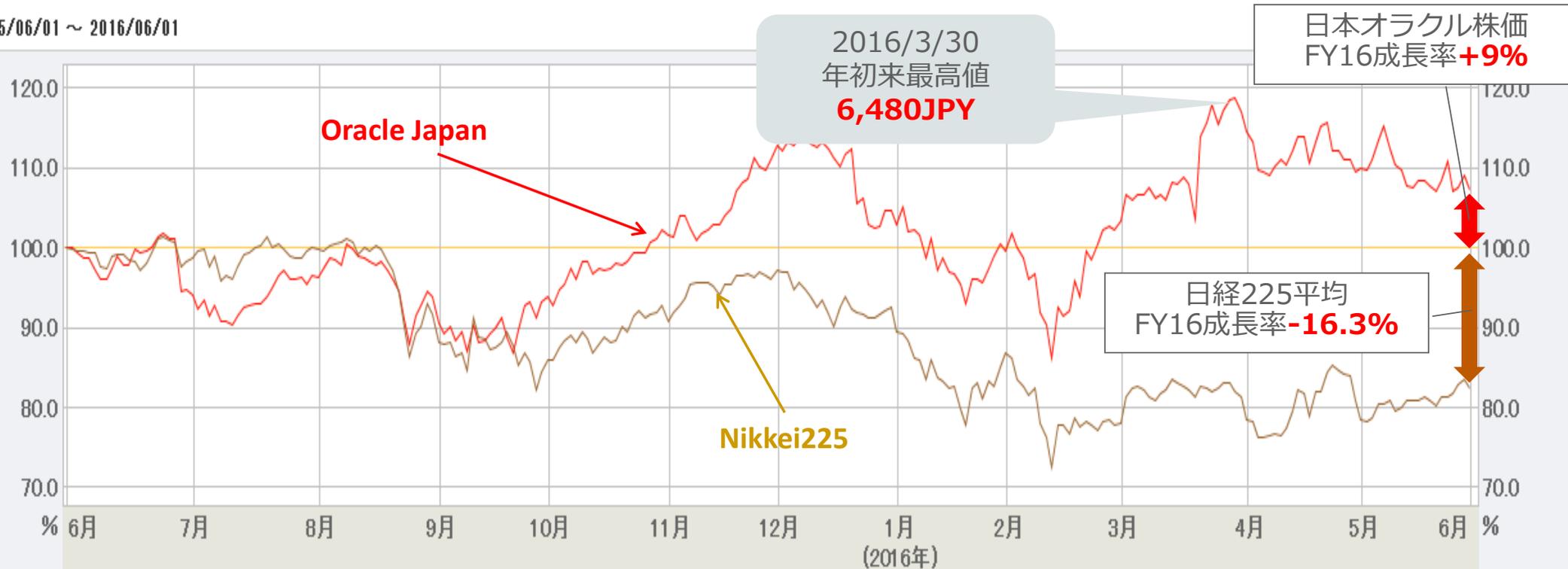
To serve the people, society and all Japanese businesses, Oracle Japan commits to deliver the best possible result on planet Earth with “speed, discipline and flexibility, delivered by creative, passionate people”.



Good FY16 Performance of Oracle Japan Stock Price

- 日経225平均成長率-16.3%に対して、日本オラクル株価は+9%

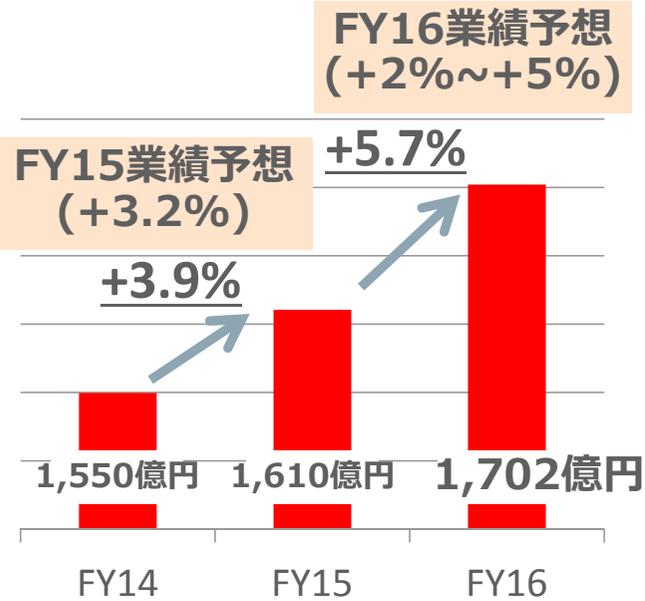
2015/06/01 ~ 2016/06/01



- FY16 期間中に、時価総額は**508億円**増額
- 2014年社長就任以来、時価総額は**1,471億円**増額

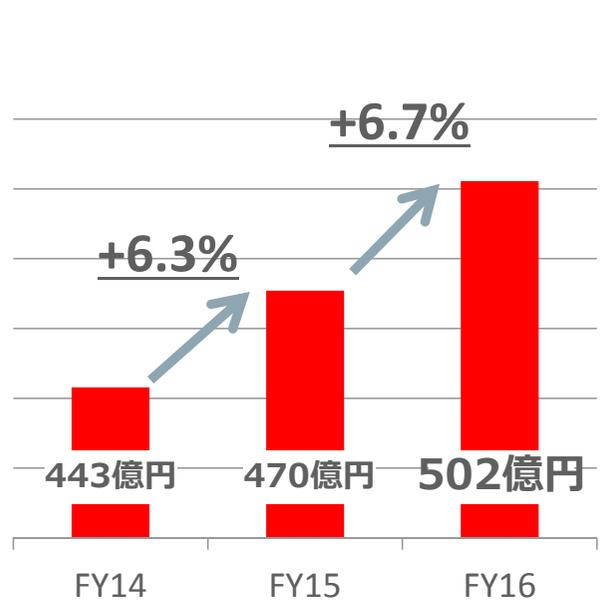
Oracle Corp. Japan **FY16** Financial Performance

Revenue 売上



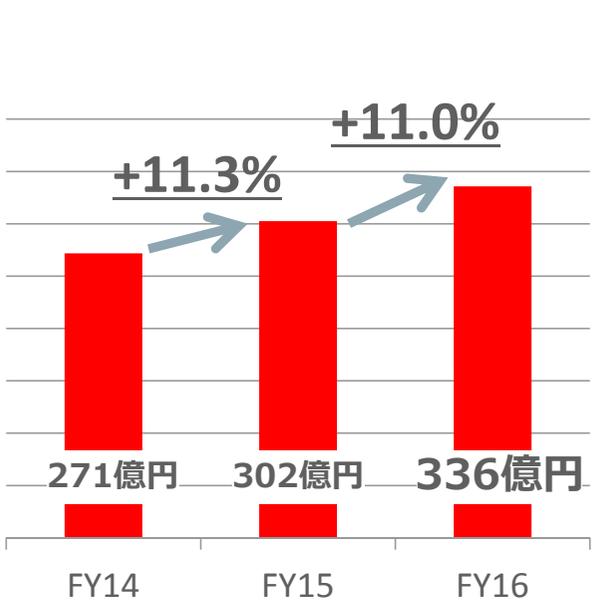
Record High

Operating Income 営業利益



Record High

Net Income 純利益



Record High

FY16 ハイライト

+39.3%

Cloud SaaS/PaaS/IaaS売上

- クラウド成長率予想である +16%~32%を大幅に達成

+3.9%

新規ライセンス売上

- 既存モデルの成長と共にクラウドビジネスも大きく成長

▶ パラレル構造改革の実現

+350社

SaaS/PaaS新規顧客数

- SaaS 150社
- PaaS 200社

+3.1%

Systems Product売上

- 2年振りにプラス成長
- Big Data/IoTにおけるストレージ製品も好調

+94

日本オラクル社員数

- 営業職を中心にクラウド人材を積極採用
- (2015年5月31日と2016年5月31日の社員数増減)



FY17：最重点施策

0. オラクルと他社との違い、
それは、テクノロジー・カンパニーであること

1. SaaS / PaaS / IaaS事業の拡大

2. エンタープライズ営業の強化

3. システム事業の拡大

4. 地域ビジネス成長への貢献



IT業界就職人気ランキング 2016

2017年4月入社予定の学生対象



技術力がありそう

志望率



1	ORACLE®	32.4%
2	JSOL	28.9%
3	NECソリューションイノベータ	28.4%
4	リコー	28.2%
5	日立製作所	28.1%

専門スキルが身に付きそう
3位

海外で働けそう
1位

分野別：ソフトウェア開発
3位

総合順位
50位



FY17 : 最重点施策 - Digital AID by POCO

1. SaaS / PaaS / IaaS事業の拡大

- ERP Cloudビジネスを加速
- パートナーとのCloud Platform協業を推進
- 中堅/中小企業の開拓 : Oracle Digital (Digital AttachéとDigital Prime)
- OPN Cloud Programの推進 (500社目標)

3. システム事業の拡大

- コンバージドインフラストラクチャー戦略の推進
- Big Data / IoTにおけるストレージ製品ビジネスの成長

2. エンタープライズ営業の強化

- インダストリー別の5組織 : 三露専務 (製造) / 大串常務 (金融) / 細谷執行役員 (流通/サービス) / 関屋常務 (通信/公益) / 白石常務 (公共)
- 大口顧客へのソリューション一体提供の強化
- グローバル:日本企業の海外事業支援

4. 地域ビジネス成長への貢献

- 「中国四国支社長」を任命、7支社7支社長体制
- 47都道府県すべてにオラクルソリューション導入を目標
- 地域での採用促進

クラウドで地方創生を活性化



3年に1度、世界から100万人が集う「芸術の島」が育むIoTの成功モデル

「瀬戸内国際芸術祭 2016」の開催地のひとつである香川県小豆郡土庄町豊島（てしま）。人口約1,000名、周囲20kmの島で、電動二輪車を活用したパーソナルモビリティのレンタルサービス事業が、2016年3月26日からスタートした



「宝の声」を拾い出せ！ 販売金額を約2倍に引き上げたサッポロビールのSNS活用法

「黒ラベル」や「アビスビール」といった老舗ブランドのビールで、多くの消費者から人気を集めているサッポロビール。しかし、その勢いを今後も継続し、売り上げを伸ばしていくためには、20～30歳代の若い世代のファン層拡大が必須だ



クラウドで「旅行者の声」を分析
北海道ではじまった地域活性化対策

食と豊かな自然で知られる日本有数の観光地、北海道。外国人旅行者などのインバウンドをさらに呼び込んで地域経済を活性化したい、というのが道内の企業・団体に共通する思いだ

オンプレミスを販売していた時代とは
異なる購買プロセスが必要

Accelerated Buying Experience

今まで：最短で**2週間**

これから：**数時間**で

自社のCloud製品(CPQ Cloud/Sales Cloud/Service Cloud)を活用し、シンプルでより早い新購買プロセスを展開

**日本オラクルは
「もっともお付き合いしやすい会社」
を目指します**



Agility - TCO - Ease of Use

安心 · 安全

Integrated Cloud

Applications & Platform Services